

計画策定過程におけるまちづくりワークショップ開催のシステム化

～土佐山田町都市計画マスタープラン策定過程を事例として～

2004年度 修士論文要旨

1. はじめに

1.1. 研究の背景

都市計画に関わる事項について、今日では住民参加・参画が必須であることはいうまでもないが、とくに、都市全体を統括する方針としての都市計画マスタープランの策定において、市民参画は決定的に重要である。(大西隆, 高見沢実, 2004, P76～P100)

このように、近年、注目されている住民参画において、住民のまちづくりへの積極的な関与・成熟化に伴い、各種の参画が模索されているが、住民参画を成功に導く方法や技術の開発がおざなりにされ、計画策定過程において、住民参画が確立されていないことなど、まだまだ課題が多く残されている。(大谷英人, 2001)

1.2. 研究の目的

本研究の目的は、近年、住民参画の手法として期待されているまちづくりWS(以下まちWSと略す)を、土佐山田町都市計画マスタープラン(以下土佐山田町都市MP)策定過程で設計・実践し、その結果の成果・問題点及び改善策を整理していくことで、一般的な地区計画策定過程におけるまちWS開催のシステム化の提案を図ることを目的としている。

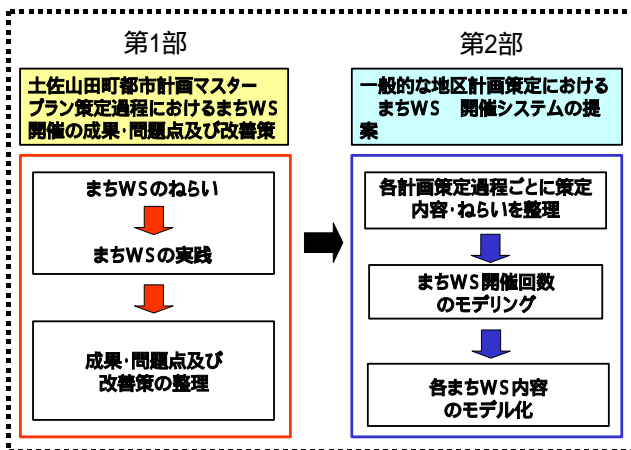


図1 研究の目的

1.3. 研究の方法

研究の方法は、参与観察法、ヒヤリング調査、文献調査を用いる。

2. 土佐山田町都市計画マスタープラン策定過程におけるまちづくりワークショップ開催の成果と問題点

2.1. 土佐山田町都市計画マスタープラン策定過程におけるまちづくりワークショップ実践の概要

土佐山田町都市計画マスタープラン策定過程におけるまちWS実践では、「現況の把握及び課題を整理する段階」では上位・関連計画質疑WS・良いところ発見WSを、そして、「計画の方針及び全体計画案を立案する段階」では、計画づくりWS・計画案(素案)質疑WSの、合計4つのまちWSを開催した。(土佐山田町, 2004)

個々のまちWSのねらいは下表のとおりであり(表1、表2)、実践結果の事例は(写真1～3)

表1 現況の把握及び課題を整理する段階におけるまちWSの実践

ワークショップ名	ねらい
上位・関連計画質疑WS	・上位・関連計画の情報を共有し学習する
良いところ発見WS	・「地区の良いところ」を再認識、再評価する ・計画者の知らない「地区」の良いところ、を引き出す

表2 計画の方針及び全体計画案を立案する段階におけるまちWSの実践

ワークショップ名	ねらい
計画づくりWS	・計画立案に向けての断片的アイデアを引き出す
計画案(素案)質疑WS	・計画案(素案)を共有し修正する



写真1 上位・関連計画質疑WSの結果事例



写真2 良いとこ発見WSの結果事例



写真3 計画づくりWSの結果事例

2.2. 個々のまちづくりワークショップ開催の成果・問題点及び改善策の整理

実践した個々のまちWSの成果・問題点及び改善策を下の表に整理した(表3~6)

表3 「上位・関連計画質疑WS」の成果・問題点及び改善策

まちWSのねらい	成果と問題点	上位・関連計画質疑WS	理由・価値
住民にとって	成果	・地区の上位・関連計画等の情報を広い意味では共有することができた ・地区の上位・関連計画等を学習することができた	・参加者の感想から、「よく理解できた」、「面白くなった」等が多数挙げられた ・まちWSスタッフのヒアリング調査から、「今回の趣向を満足することができ、概ね理解できたのではない」等のコメントが寄せられた
	問題点	・住民が上位・関連計画等の情報を学習するのしかできなかった	・今回のまちWSに、共有・学習するプログラムが組み込んでいなかった ・まちWSスタッフのヒアリング調査から、「学習するだけのまちWSでは、住民の理解が浅い」等のコメントが寄せられた
	改善策	・住民が学習するだけでなく、評価してどこが良くてどこがダメなのかを、「評価」することもプログラムに組み込んだまちWSを開催するべき	
計画者にとって	成果	・参加者から質問内容と共に整理等も出され、潜在的・潜在的ニーズも引き出すことができた	・参加者から、「道庁計画・土地利用規制を見直ししたい」のたがであるのか、「市庁舎の移転を早急にするべきではない」等の質問・意見が出された
	問題点	・情報量が多すぎて理解できていない部分もあった ・専門用語が多く、理解できていない部分もあった	・まちWSスタッフのヒアリング調査から、「説明の仕方が悪く、特に主催者からの質問が少なかった」、「分かり易く説明するには、もう少しスタッフが学習しておくべきであった」等のコメントが寄せられた
	改善策	・情報量が多い場合は、事前に参加者に資料を配布する等の対応が考えられる ・住民に説明する前に、スタッフが理解する内容をしっかりと学習し理解しておくべきである	

表4 「良いとこ発見WS」の成果・問題点及び改善策

まちWSのねらい	成果と問題点	良いとこ発見WS	理由・価値
住民にとって	成果	・地区の良いとこに關しては情報を共有することができた ・地区の良いとこを再認識・再評価することができた	・参加者の感想から、「地区を再認識することができた」、「知らなかった地区の情報を知ることができた」等が多数挙げられた
	問題点	・地区の現状把握として、実際にまちを歩いて再認識する機会が不足していた ・地区の良いとこ(問題点)に關しては情報を共有することができなかった ・地区の良いとこ(問題点)を再認識・再評価することができなかった	・参加者の感想から、「実際にまちを歩きたかった」等の感想が寄せられた ・スタッフのヒアリング調査から、「住民の視点からの地区の現状把握等も把握するべきであった」等のコメントも寄せられた
	改善策	・まちWSのプログラムに現地調査を組み込み、地区の潜在力をより再発見するべき ・地区の良いとこ(問題点)の現状把握もまちWSのプログラムに組み込んだまちWSを開催するべき	
計画者にとって	成果	・計画者が知りえなかった「地区の良いとこ」の情報を得ることができた ・地区の良いとこ・残して来た良いとこ等の潜在的ニーズ・潜在的ニーズを引き出すことができた	・計画者として知らなかった、地区の名水や、地区の様々な方面で活動している団体などを知ることができた
	問題点	・計画者が知りえなかった「地区の良いとこ(問題点)」の情報を得ることができなかった ・地区の良いとこ(問題点)等の潜在的ニーズ・潜在的ニーズを引き出すことができなかった ・計画者定意には現状の把握及び情報を整理することができなかった	・計画者が整理している範囲の「地区の良いとこ(問題点)」を扱い、課題を整理した
	改善策	・「地区の良いとこ」(問題点)の現状把握もまちWSのプログラムに組み込んだまちWSを開催するべきである ・個々の計画者定意ごとに、現状を把握し課題を整理するまちWSを開催するべき	

表5 「計画づくりWS」の成果・問題点及び改善策

まちWSのねらい	成果と問題点	計画づくりWS	理由・価値
住民にとって	成果	・上位・関連計画の情報を広い意味では共有することができた ・地区の将来像を共有することができた	・地域に上位・関連計画の活用 ・地区の将来像、活動方針を決める際に、上位・関連計画のキーワードを使用 ・参加者の感想から「自分で行った活動の意義がわかってきた」、「今後のプランが実現できるようにがんばりたい」等が寄せられた
	問題点	・上位・関連計画に対する理解・学習時間が少なく、住民の理解が浅かった ・計画案を立案する目標値が少し明確でなかった	・参加者の感想から、「自分たちが考える計画案の量が少し減った」、「自分たちの意見が反映できなかった」等が寄せられた
	改善策	・各計画のまちWSにおいて、会の始めに上位・関連計画の活用を企画を行う ・計画を立案する目標値を明確にしたまちWSを開催するべき	
計画者にとって	成果	・全体計画立案に向けての断片的なアイデアを引き出すことができた	・将来像、活動方針、また、それらの実現に向けて計画案を立案する作業において、「良いとこ発見WS」のキーワードが活用されたため、計画案の取り込み、実現が容易になった
	問題点	・計画の方針及び全体計画案を立案するプロセスが少し遅かった ・計画者定意には計画の方針及び全体計画を立案するまちWSが開催できなかった	・参加者の感想から、「キーワードを作るのが難しい」、「共有する部分と重複する点、迷ったところがあるが慣れないうちである」等が寄せられた
	改善策	・個人で検討する時間、グループで検討する時間を明確に設ける ・グループで全ての人が意見を提示し、それをもとにグループで議論していくというプロセスが実施されたまちWSを開催するべき ・個々の計画者定意ごとに、計画の方針や全体計画案を立案するまちWSを開催するべき	

表6 「計画案(素案)質疑WS」の成果・問題点及び改善策

まちWSのねらい	成果と問題点	計画案(素案)質疑WS	理由・価値
住民にとって	成果	・計画案(素案)の情報を共有することができた	・計画案(素案)を明確に配布 ・当日はリアポイントを使用して全体の説明
	問題点	・全体で理解可能な内容を共有することができなかった	・質疑に対しては回答が得られたが、形式で終わった
	改善策	・質疑応答のやりとりをアンリテーショングラフィック表現を用いて全体に共有するべき	
計画者にとって	成果	・住民から「真正面」指摘内容を聞き出すことができた	・全体の説明が終わった後に、委員から委員を指摘質問を投げた ・質疑・指摘質問の内容を整理して記録
	問題点	・文章表現に対する理解が多く、中身の理解が浅かった	・参加者から多数の文章表現に対する指摘が出された
	改善策	・文章表現については、まちWS以外の説明会を利用して指摘質問を聞き出し、中身の理解を深めるべき	

また、まちWSの実践を通じて、個々のまちWSの成果・問題点及び改善策を整理したことで、まちWSを開催するねらいを明確にすることができた(図2、図3)。

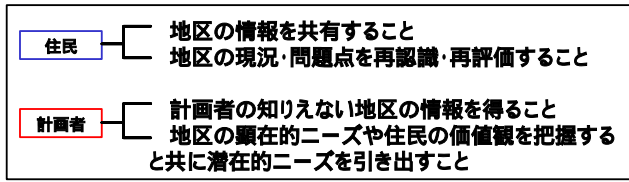


図2 現況の把握及び課題を整理する段階でのまちWS開催のねらい

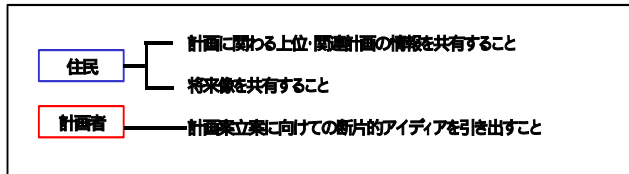


図3 計画の方針及び全体計画案を立案する段階でのまちWS開催のねらい

3. 計画策定過程におけるまちづくりワークショップ開催のシステム化

以上のような土佐山田町都市MP策定過程で得られたまちWS開催の成果・問題点及び改善策を反映させて、計画策定過程におけるまちWS開催システムの提案を図る。

3.1. 計画策定過程におけるまちづくりワークショップ開催システムの前提条件

まず、計画策定過程におけるまちWS開催システムの前提条件を以下の3点に整理した。計画策定過程については土佐山田町都市MP策定過程で明確になった内容をより細かく整理し、内容に沿って計画を策定する(図6、図7)。また、まちWS開催のねらいについては、第2章の図2、3で示したねらいを、計画策定内容ごとに整理して示す。

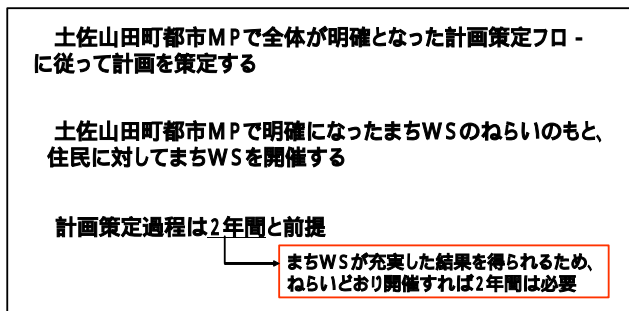


図5 計画策定過程におけるまちWS開催システムの前提条件

3.1.1. 計画策定過程のフローチャート

土佐山田町都市MPを通じて明確にすることができた、計画策定過程のフローチャートを下図に示す(図6、図7)。

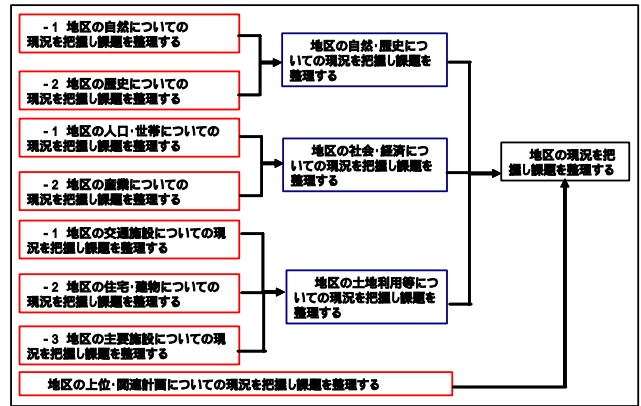


図7 「現況の把握及び課題を整理する段階」の計画策定内容と策定のフローチャート

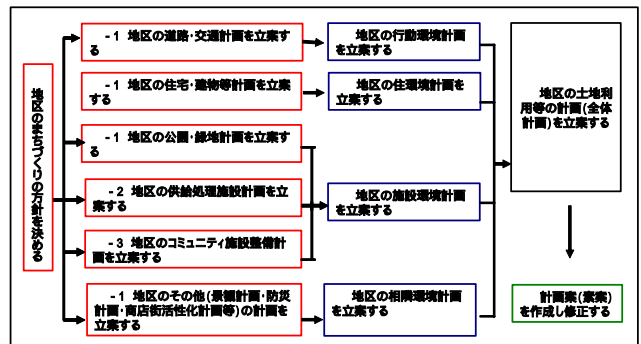


図8 「計画の方針及び全体計画案を立案する段階」の計画策定内容と策定のフローチャート

3.1.2. 計画者が住民に対して開催するまちづくりワークショップのねらいの整理

土佐山田町都市MP策定過程を通じて明確にすることができた、計画者が住民に対して開催するまちWSのねらいを、各計画策定項目ごとに整理する。「現況の把握及び課題を整理する段階」での大きなねらいをA、「計画の方針及び全体計画案を立案する段階」での大きなねらいをBとして、以下計画策定項目ごとに整理する。

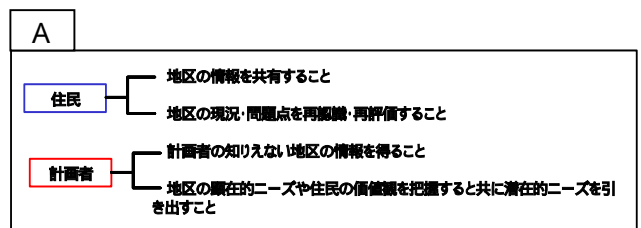


図9 「現況の把握及び課題を整理する段階」での大きなねらい

1) 地区の自然・歴史についての現況を把握し課題を整理するまちWSを開催するねらい

地区の自然・歴史についての現況を把握し課題を整理する作業（：図7参照）において地区住民に対してまちWSを開催するねらいを下図に示す。

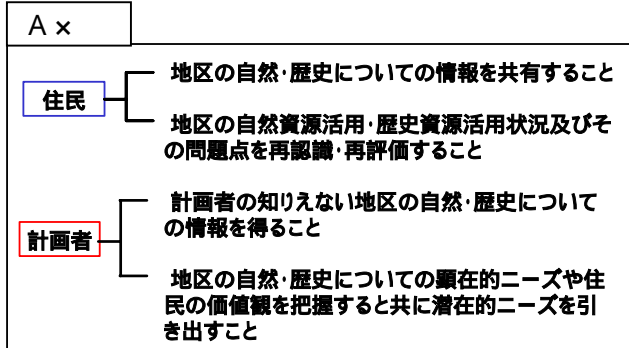


図10 まちWSを開催するねらい(A x)

4) 地区の社会状況についての現況を把握し課題を整理するまちWSを開催するねらい

地区の社会状況についての現況を把握し課題を整理する作業（：図7参照）において地区住民に対してまちWSを開催するねらいを下図に示す。

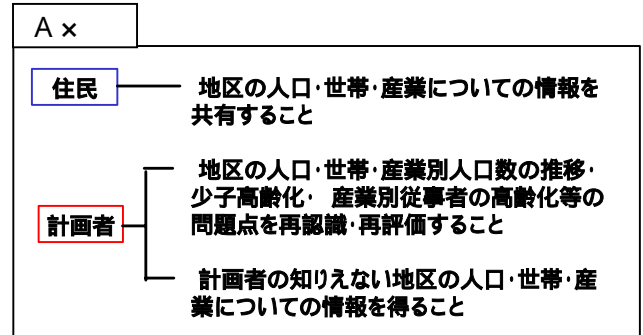


図13 まちWSを開催するねらい(A x)

2) 地区の自然についての現況を把握し課題を整理するまちWSを開催するねらい

地区の自然についての現況を把握し課題を整理する作業（-1:図7参照）において地区住民に対してまちWSを開催するねらいを下図に示す。

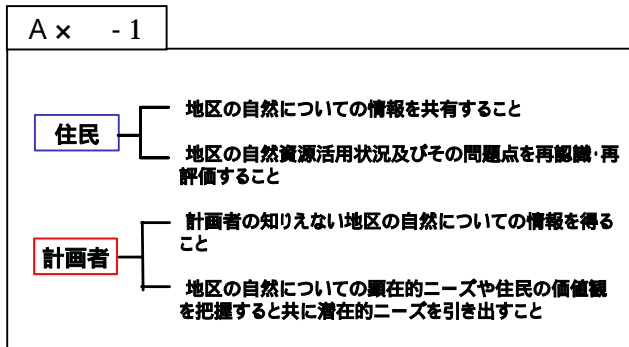


図11 まちWSを開催するねらい(A x -1)

5) 地区の人口・世帯についての現況を把握し課題を整理するまちWSを開催するねらい

地区の人口・世帯についての現況を把握し課題を整理する作業（-1:図7参照）において地区住民に対してまちWSを開催するねらいを下図に示す。

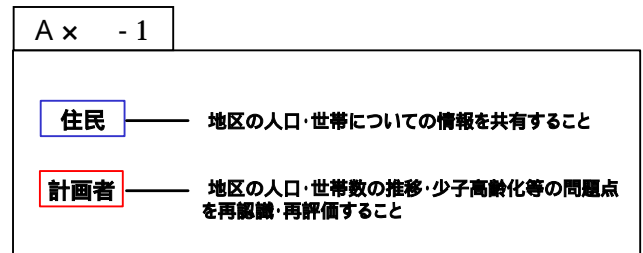


図14 まちWSを開催するねらい(A x -1)

3) 地区の歴史についての現況を把握し課題を整理するまちWSを開催するねらい

地区の歴史についての現況を把握し課題を整理する作業（-2:図7参照）において地区住民に対してまちWSを開催するねらいを下図に示す。

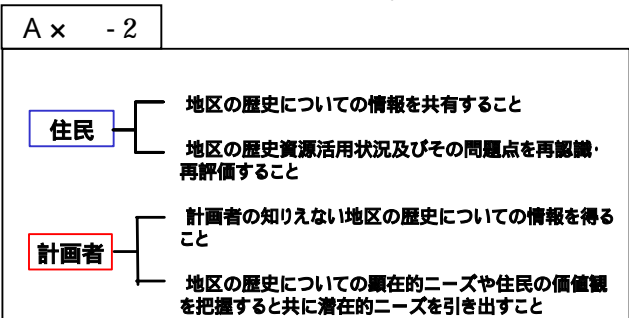


図12 まちWSを開催するねらい(A x -2)

6) 地区の産業についての現況を把握し課題を整理するまちWSを開催するねらい

地区の産業についての現況を把握し課題を整理する作業（-2:図7参照）において地区住民に対してまちWSを開催するねらいを下図に示す。

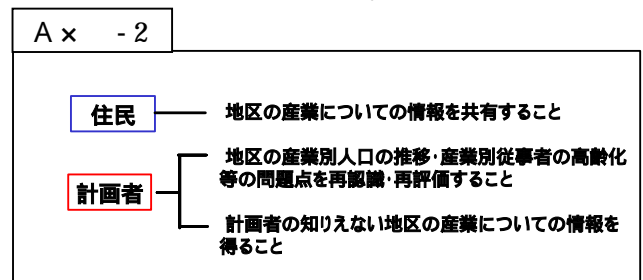


図15 まちWSを開催するねらい(A x -2)

7) 地区の土地利用等についての現況を把握し課題を整理するまちWSを開催するねらい

地区の土地利用等についての現況を把握し課題を整理する作業(: 図7 参照)において地区住民に対してまちWSを開催するねらいを下図に示す。

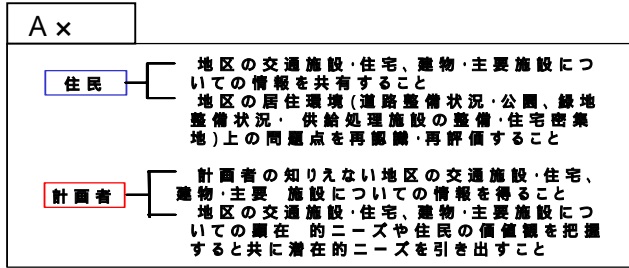


図16 まちWSを開催するねらい(A x)

8) 地区の交通施設についての現況を把握し課題を整理するまちWSを開催するねらい

地区の交通施設についての現況を把握し課題を整理する作業(-1 : 図7 参照)において地区住民に対してまちWSを開催するねらいを下図に示す。

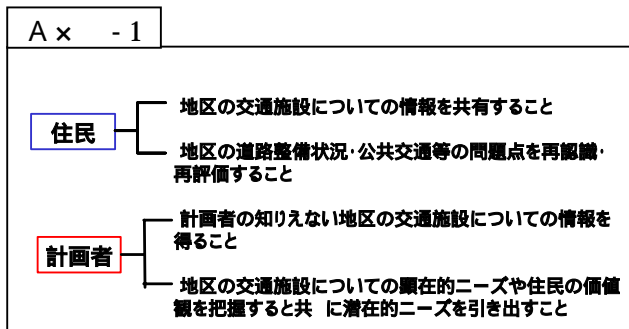


図17 まちWSを開催するねらい(A x -1)

9) 地区の住宅・建物についての現況を把握し課題を整理するまちWSを開催するねらい

地区の住宅・建物についての現況を把握し課題を整理する作業(-2 : 図7 参照)において地区住民に対してまちWSを開催するねらいを下図に示す。

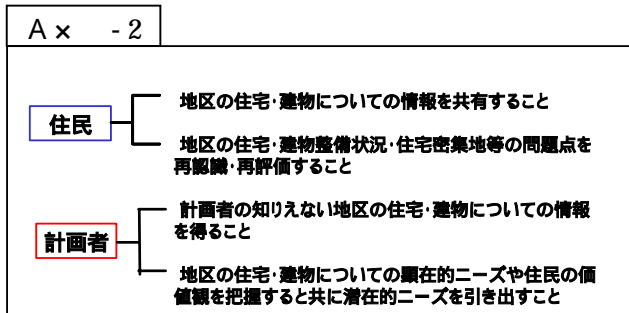


図18 まちWSを開催するねらい(A x -2)

10) 地区の主要施設についての現況を把握し課題を整理するまちWSを開催するねらい

地区の主要施設についての現況を把握し課題を整理する作業(-3 : 図7 参照)において地区住民に対してまちWSを開催するねらいを下図に示す。

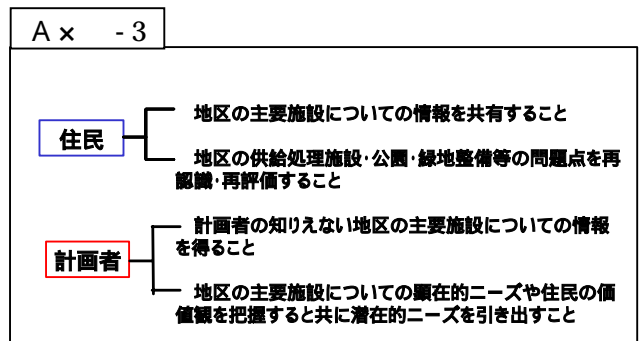


図20 まちWSを開催するねらい(A x -3)

11) 地区の上位・関連計画等についての現況を把握し課題を整理するまちWSを開催するねらい

地区の上位・関連計画等についての現況を把握し課題を整理する作業(: 図7 参照)において地区住民に対してまちWSを開催するねらいを下図に示す。

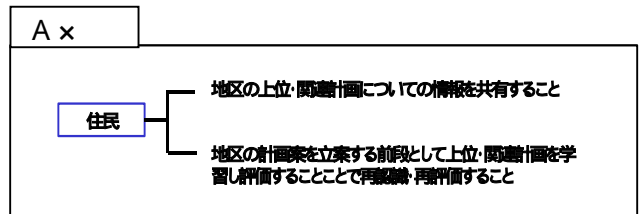


図21 まちWSを開催するねらい(A x)

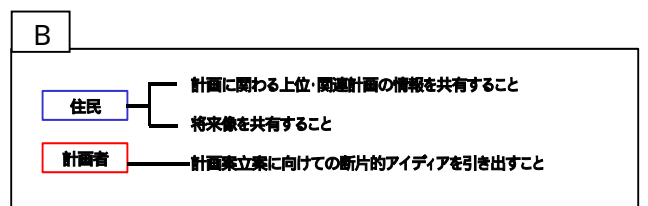


図22 「計画の方針及び全体計画案を立案する段階」での大きなねらい

12) 地区のまちづくりの方針を決めるまちWSを開催するねらい

地区のまちづくりの方針を決める作業(: 図8 参照)において地区住民に対してまちWSを開催するねらいを下図に示す。

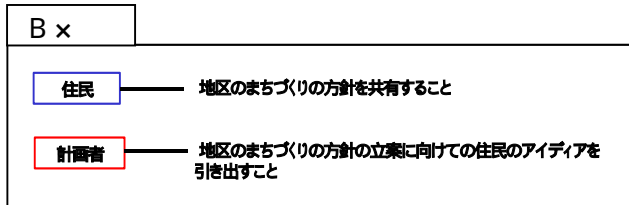


図23 まちWSを開催するねらい(B x)

15) 地区の施設環境の整備方針を決め計画案を立案するまちWSを開催するねらい

地区の施設環境の整備方針を決め計画案を立案する作業(: 図8 参照)において地区住民に対してまちWSを開催するねらいを下図に示す。

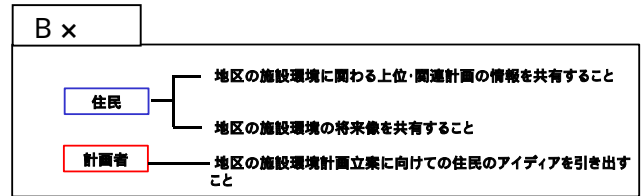


図26 まちWSを開催するねらい(B x)

13) 地区の行動環境計画の整備方針を決め計画案を立案するまちWSを開催するねらい

地区の道路・交通計画の整備方針を決め計画案を立案する作業(-1: 図8 参照)において地区住民に対してまちWSを開催するねらいを下図に示す。

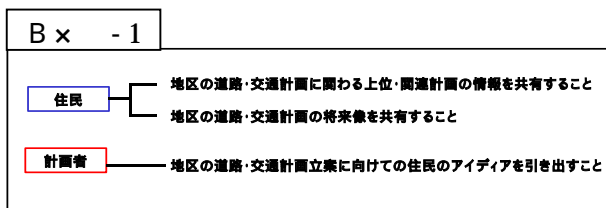


図24 まちWSを開催するねらい(B x -1)

16) 地区の公園・緑地の整備方針を決め計画案を立案するまちWSを開催するねらい

地区の公園・緑地の整備方針を決め計画案を立案する作業(-1: 図8 参照)において地区住民に対してまちWSを開催するねらいを下図に示す。

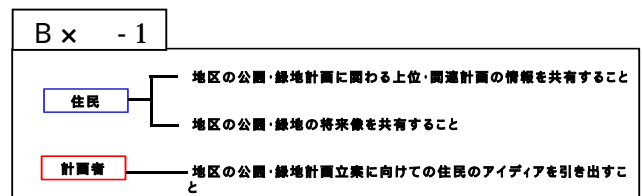


図27 まちWSを開催するねらい(B x -1)

14) 地区の住環境計画の整備方針を決め計画案を立案するまちWSを開催するねらい

地区の住宅・建物整備方針を決め計画案を立案する作業(-1: 図8 参照)において地区住民に対してまちWSを開催するねらい下図に示す。

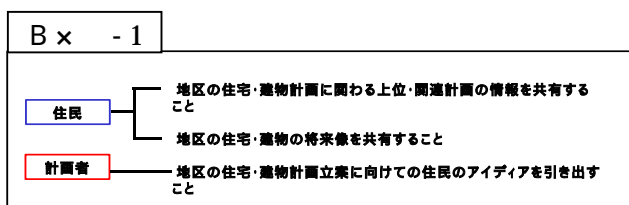


図25 まちWSを開催するねらい(B x -1)

17) 地区の供給処理施設の整備方針を決め計画案を立案するまちWSを開催するねらい

地区の供給処理施設の整備方針を決め計画案を立案する作業(-2: 図8 参照)において地区住民に対してW Sを開催するねらいを下図に示す。

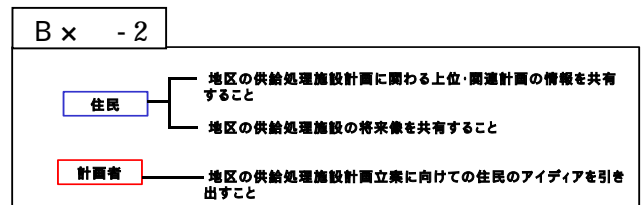


図28 まちWSを開催するねらい(B x -2)

18) 地区のコミュニティ施設の整備方針を決め計画案を立案するまちWSを開催するねらい
 地区のコミュニティ施設の整備方針を決め計画案を立案する作業(-3: 図8 参照)において地区住民に対してWSを開催するねらいを下図に示す。

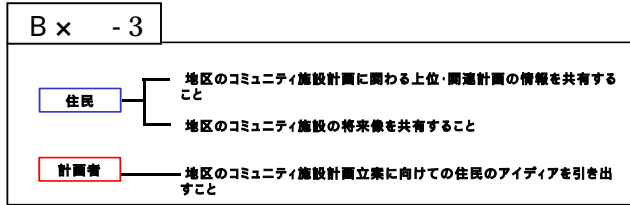


図29 まちWSを開催するねらい(B x -3)

21) 地区の防災の方針を決め計画案を立案するまちWSを開催するねらい
 地区の防災の方針を決め計画案を立案する作業(-2: 図8 参照)において地区住民に対してWSを開催するねらいを下図に示す。

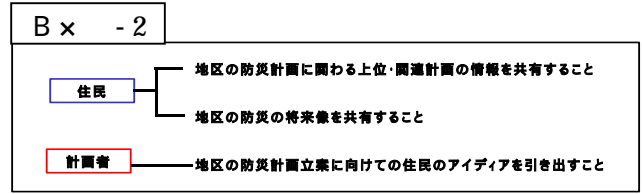


図32 まちWSを開催するねらい(B x -2)

19) 地区の相隣環境の整備方針を決め計画案を立案するまちWSを開催するねらい
 地区の相隣環境の整備方針を決め計画案を立案する作業(: 図8 参照)において地区住民に対してWSを開催するねらいを下図に示す。

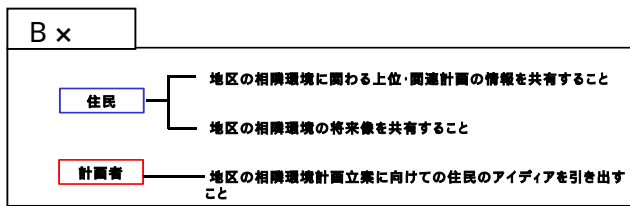


図30 まちWSを開催するねらい(B x)

22) 地区の商店街活性化等の整備方針を決め計画案を立案するまちWSを開催するねらい
 地区の商店街活性化等の整備方針を決め計画案を立案する作業(-3: 図8 参照)において地区住民に対してWSを開催するねらいを下図に示す。

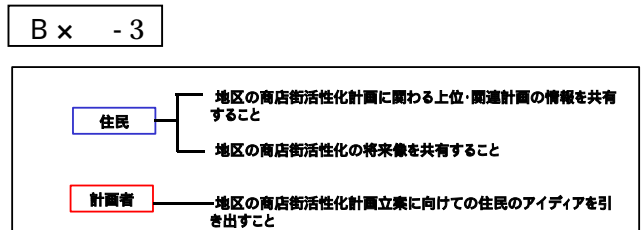


図33 まちWSを開催するねらい(B x -3)

20) 地区の景観形成の整備方針を決め計画案を立案するまちWSを開催するねらい
 地区の景観形成の整備方針を決め計画案を立案する作業(-1: 図8 参照)において地区住民に対してWSを開催するねらいを下図に示す。

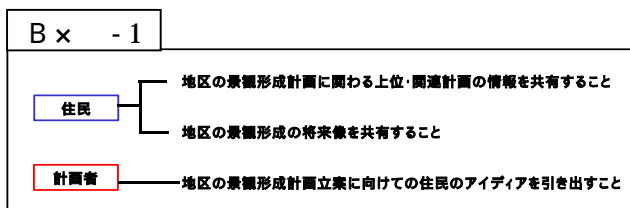


図31 まちWSを開催するねらい(B x -1)

23) 計画案(素案)を作成し修正するまちWSを開催するねらい
 計画案(素案)を作成し修正する作業(: 図8 参照)において地区住民に対してWSを開催するねらいを下図に示す。

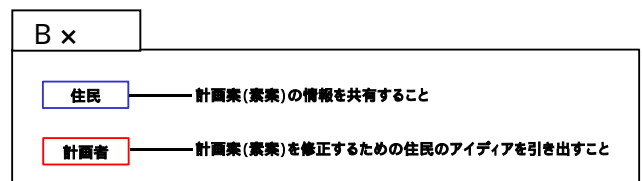


図34 まちWSを開催するねらい(B x)

3.2. 計画策定過程におけるまちづくりワークショップ 内容の検討

以上のような前提条件を受けて、計画策定過程における調査・計画項目に対するまちWSの名称及び内容を設定する（図35, 図36）。

3.2.1. 「現況の把握及び課題を整理する段階」でのまちWS名称及び内容の設定

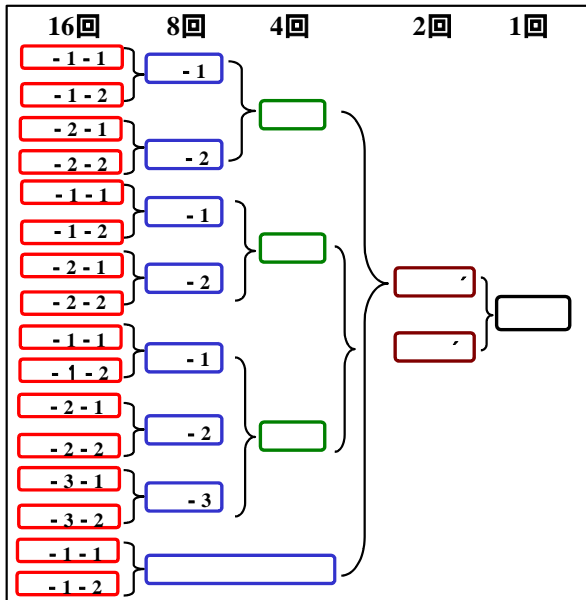


図35 現況の把握及び課題を整理する段階でのまちWSの内容の検討

1) 「16回」開催する場合のまちWS名称及び内容の設定 「現況の把握及び課題を整理する段階」でのまちWS 名称及び内容を示す。

- 1-1 地区の自然を再認識・再発見ネイチャーゲーム
- 1-2 地区の自然の課題発見WS
- 2-1 地区の歴史を再認識・再発見タウンウォッチング
- 2-2 地区の歴史の課題発見WS
- 1-1 地区の人口・世帯に対する質疑WS
- 1-2 地区の人口・世帯の課題発見WS
- 2-1 地区の産業に対する質疑WS
- 2-2 地区の産業の課題発見WS
- 1-1 地区の交通施設の再認識・再発見タウンウォッチング
- 1-2 地区の交通施設の課題発見WS
- 2-1 地区の建物・住宅の再認識・再発見タウンウォッチング
- 2-2 地区の建物・住宅の課題発見WS
- 3-1 地区の主要施設の再認識・再発見タウンウォッチング
- 3-2 地区の主要施設の課題発見WS
- 1-1 地区の上位・関連計画に対する質疑WS
- 1-2 地区の上位・関連計画学習・評価WS

2) 「8回」開催する場合のまちWS名称及び内容の設定 「現況の把握及び課題を整理する段階」でのまちWS 名称及び内容を示す。

- 1 地区の自然の課題発見ネイチャーゲーム
- 2 地区の歴史の課題発見タウンウォッチング
- 1 地区の人口・世帯の課題発見WS
- 2 地区の産業の課題発見WS
- 1 地区の交通施設の課題発見タウンウォッチング
- 2 地区の建物・住宅の課題発見タウンウォッチング
- 3 地区の主要施設の課題発見タウンウォッチング
- 1 地区の上位・関連計画学習・評価WS

3) 「4回」開催する場合のまちWS名称及び内容の設定 「現況の把握及び課題を整理する段階」でのまちWS 名称及び内容を示す。

- 地区の自然・歴史の課題発見タウンウォッチング
- 地区の社会・経済の状況からみた課題発見WS
- 地区の土地利用等の課題発見タウンウォッチング
- 地区の上位・関連計画学習・評価WS

4) 「2回」開催する場合のまちWS名称及び内容の設定 「現況の把握及び課題を整理する段階」でのまちWS 名称及び内容を示す。

- 地区のハードな課題発見タウンウォッチング
- 地区のソフトな課題発見WS

5) 「1回」開催する場合のまちWS名称及び内容の設定 「現況の把握及び課題を整理する段階」でのまちWS 名称及び内容を示す。

- 地区の課題発見WS

3.2.2. 「計画の方針及び全体計画案を立案する段階」でのまちWS名称及び内容の設定

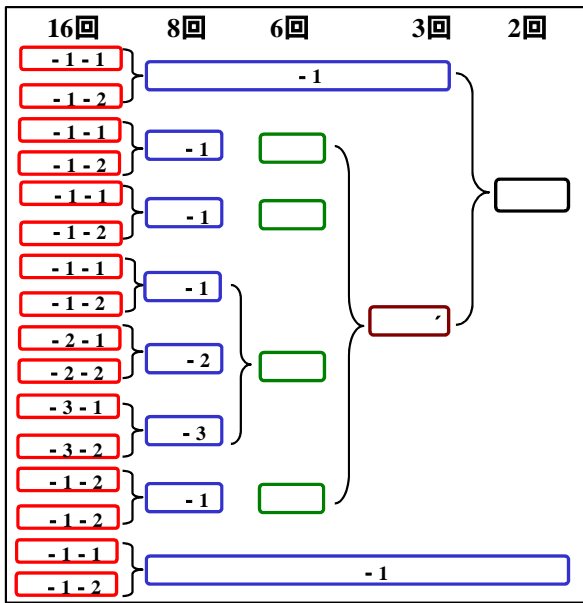


図36 計画の方針及び全体計画案を立案する段階でのまちWSの内容の検討

1) 「16回」開催する場合のまちWS名称及び内容の設定
「計画の方針及び全体計画案を立案する段階」でのまちWS名称及び内容を示す。

- 1-1 地区の将来像への「思い」集約ウィッシュポエム
- 1-2 地区のまちづくりの方針づくりWS
- 1-1 地区の道路・交通計画の整備方針づくりWS
- 1-2 地区の道路・交通計画づくりWS
- 1-1 地区の住宅・建物等計画の整備方針づくりWS
- 1-2 地区の住宅・建物等計画づくりWS
- 1-1 地区の公園・緑地計画の整備方針づくりWS
- 1-2 地区の公園・緑地計画づくりWS
- 2-1 地区の供給処理施設計画の整備方針づくりWS
- 2-2 地区の供給処理施設計画づくりWS
- 3-1 地区のコミュニティ施設計画の整備方針づくりWS
- 3-2 地区のコミュニティ施設計画づくりWS
- 1-1 地区のその他の計画の整備方針づくりWS
- 1-2 地区のその他の計画づくりWS
- 1-1 計画案(素案)質疑WS
- 1-2 合意形成を図る旗揚げアンケート

2) 「8回」開催する場合のまちWS名称及び内容の設定
「計画の方針及び全体計画案を立案する段階」でのまちWS名称及び内容を示す。

- 1 地区のまちづくりの方針づくりWS
- 1 地区の道路・交通計画づくりWS
- 1 地区の住宅・建物等計画づくりWS
- 1 地区の公園・緑地計画づくりWS

- 2 地区の供給処理施設計画づくりWS
- 3 地区のコミュニティ施設計画づくりWS
- 1 地区のその他の計画づくりWS
- 1 計画案(素案)質疑WS

3) 「6回」開催する場合のまちWS名称及び内容の設定
「計画の方針及び全体計画案を立案する段階」でのまちWS名称及び内容を示す。

- 地区のまちづくりの方針づくりWS
- 地区の行動環境づくりWS
- 地区の住環境づくりWS
- 地区の施設環境づくりWS
- 地区の相隣環境づくりWS
- 計画案(素案)質疑WS

4) 「3回」開催する場合のまちWS名称及び内容の設定
「計画の方針及び全体計画案を立案する段階」でのまちWS名称及び内容を示す。

- 地区のまちづくりの方針づくりWS
- 地区の土地利用等の計画づくりWS
- 計画案(素案)質疑WS

5) 「2回」開催する場合のまちWS名称及び内容の設定
「計画の方針及び全体計画案を立案する段階」でのまちWS名称及び内容を示す。

- 地区の計画づくりWS
- 計画案(素案)質疑WS

3.3. 計画策定過程におけるまちWS開催回数モデルの検討

まちWSの開催回数は、計画策定期間は2年間であるという前提条件から、「現況の把握及び課題を整理する段階」では4回のまちWS開催が、また、計画の方針及び全体計画案を立案する段階では6回のまちWS開催が妥当であるとし、この合計10回のまちWSを、モデルとして提案する。

また、それらの設計内容例及びプログラムは下表のとおりである(表7~表16)

・現況把握及び課題を整理する段階

4回開催のまちWSモデル

地区の自然・歴史の課題発見タウンウォッチング
 地区の社会・経済の状況からみた課題発見WS
 地区の土地利用等の課題発見タウンウォッチング
 地区の上位・関連計画学習・評価WS

・計画の方針及び全体計画案を立案する段階

6回開催のまちWSモデル

地区のまちづくりの方針抽出WS
 地区の行動環境づくりWS
 地区の住環境づくりWS
 地区の施設環境づくりWS
 地区の相隣環境づくりWS
 計画案(素案)質疑WS

図37 まちWS開催のモデル提案

『地区の自然・歴史の課題発見タウンウォッチング』
 の設計内容例等

表7 『地区の自然・歴史の課題発見タウンウォッチング』の設計内容例等

STEP	内容
まちWSの説明	「まちWSを始める前に、以下の3点について説明する。」 1.まちWSとは何か 2.まちWSを用いる利点とは 3.タウンウォッチング手法の特徴
自己紹介WS	「まちWSを夜で進める前提として、自己紹介WSを行う。」 1.自己紹介シートへ各自が記入する(氏名・今何をしていますか・趣味など) 2.班の中で内容を発表しあう
まちを歩く	「地区の自然・歴史をウォッチングする。」 1.地区の自然・歴史をウォッチングし再発見・再認識する 2.再発見・再認識したことを写真におさめ、ウォッチングして気づいたこと・感じたことをメモする
ヒアリングする	「地区の歴史・自然についてヒアリングする。」 1.ウォッチングの際に、地区住民に地区の歴史・自然についてヒアリングしポストイットにメモする(高齢者から地区の寺・ほこら・大木などについて詳しく聞き出す)
地図上に表現する	「ウォッチングして再発見・再認識したことを地図上に表現する。」 1.とってきた写真を地区の地図に貼り付ける 2.写真の下にその場所の説明を記す 3.同じ内容のものがひと目でわかるように写真・コメントを色で囲む
気づいたこと・感じたことをまとめる	「ウォッチング・ヒアリングして気づいたこと・感じたことなどをまとめる。」 1.グループで気づいたこと・感じたこと・問題点等を検討する 2.ワークシートに気づいたこと・感じたこと・問題点等をまとめる
感想を残す	「参加者全員の感想を残す。」 1.今回のまちWS全体を通しての感想を全員が記入する
発表する	「チームリーダーが発表する。」 1.班でまとめた地区の良いところをチームリーダーが参加者全員に対して発表する
総括する	「専門家が総括する。」 1.各班の発表を聞き、専門家が総括する

『地区の社会・経済の状況からみた課題発見WS』の
 設計内容例等

表8 『地区の社会・経済の状況からみた課題発見WS』の設計内容例等

STEP	内容
まちWSの説明	「まちWSを始める前に、以下の3点について説明する。」 1.まちWSとは何か 2.まちWSを用いる利点とは 3.KJ法の特徴
自己紹介WS	「まちWSを夜で進める前提として、自己紹介WSを行う。」 1.自己紹介シートへ各自が記入する(氏名・今何をしていますか・趣味など) 2.班の中で内容を発表しあう
地区の社会・経済の状況を説明する	「地区の社会・経済の状況を説明する。」 1.地区の人口・世帯について図表を用いて説明する 2.地区の産業従事者が、地区の産業について説明する
KJラベルへ記入する	「質問の内容をKJラベルへ記入する。」 1.「地区の人口・世帯・産業の問題点は何ですか?」という質問に対して個人で検討する 2.検討した内容を個人でKJラベルに記入する(枚数に制限なし)
KJラベルを分類分けする	「個人で記入したKJラベルを、班の中で内容が同じ物に分ける。」 1.チームリーダーが枚だけKJラベルを読みあげる 2.読みあげた内容と自分の持っているカードで同じ内容のものがあるか確かめる 3.同じものがあつたらそれを読みあげ、内容が同じかどうか班での承認を得る 4.同じ内容のKJラベルをグループ化していく
ワークシートに表現する	「分類分けしたKJラベルを、ワークシートにグラフィック表現する。」 1.グループにしたKJラベルを一まとめにし、そのグループにタイトルをつける 2.KJラベルを関連性をもちたせて配置し、ワークシートに貼り付ける 3.誰が見ても分かるようなグラフィック表現を施す
課題をまとめる	「発見した地区の問題点・発見した課題をまとめて記入する。」 1.KJラベルによってまとめた地区の社会・経済における課題をまとめて記入する
発表する	「チームリーダーが発表する。」 1.班でまとめた地区の良いところをチームリーダーが参加者全員に対して発表する
総括する	「専門家が総括する。」 1.各班の発表を聞き、専門家が総括する
感想を残す	「参加者に感想を残してもらおう。」 1.隣りに参加者全員に対し、自由な視点で今回のまちWSの感想を記入してもらおう

『地区の土地利用等の課題発見タウンウォッチング』
 の設計内容例等

表9 『地区の土地利用等の課題発見タウンウォッチング』の設計内容例等

STEP	内容
まちWSの説明	「まちWSを始める前に、以下の3点について説明する。」 1.まちWSとは何か 2.まちWSを用いる利点とは 3.タウンウォッチング手法の特徴
自己紹介WS	「まちWSを夜で進める前提として、自己紹介WSを行う。」 1.自己紹介シートへ各自が記入する(氏名・今何をしていますか・趣味など) 2.班の中で内容を発表しあう
まちを歩く	「地区の土地利用等をウォッチングする。」 1.地区の土地利用等をウォッチングし再発見・再認識する 2.再発見・再認識したことを写真におさめ、ウォッチングして気づいたこと・感じたことをメモする
地図上に表現する	「ウォッチングして再発見・再認識したことを地図上に表現する。」 1.とってきた写真を地区の地図に貼り付ける 2.写真の下にその場所の説明を記す 3.同じ内容のものがひと目でわかるように写真・コメントを色で囲む
気づいたこと・感じたことをまとめる	「ウォッチングして気づいたこと・感じたことなどをまとめる。」 1.グループで気づいたこと・感じたこと・問題点等を検討する 2.ワークシートに気づいたこと・感じたこと・問題点等をまとめる
感想を残す	「参加者全員の感想を残す。」 1.今回のまちWS全体を通しての感想を全員が記入する
発表する	「チームリーダーが発表する。」 1.班でまとめた地区の良いところをチームリーダーが参加者全員に対して発表する
総括する	「専門家が総括する。」 1.各班の発表を聞き、専門家が総括する

『地区の上位・関連計画学習・評価WS』の設計内容例等

表10 『地区の上位・関連計画の課題発見WS』の設計内容例等

STEP	内容
まちWSの説明	『まちWSを始める前に、以下の3点について説明する』 1. まちWSとは何か 2. まちWSを用いる利点とは 3. KJ法の特徴
自己紹介WS	『まちWSを始める前段として、自己紹介WSを行う』 1. 自己紹介シートへ各自が記入する（氏名・今何をしていますか・趣味など） 2. 班の中で内容を発表しあう
上位・関連計画の説明	『上位・関連計画の説明をする』 1. 張り出した地図・配布資料・パワーポイントを用いて上位・関連計画の説明をする
KJラベルへ記入する	『質問の内容をKJラベルに記入する』 1. さきほどの説明を受けて「地区の上位・関連計画の良いところ・問題点は何か？」という質問 2. 検討した内容を個人でKJラベルに記入する（枚数に制限なし）
KJラベルを分類分けする	『個人で記入したKJラベルを、班の中で内容が同じ物に分ける』 1. チームリーダーが枚だけKJラベルを読みあげる 2. 読みあげた内容と自分の持っているカードで同じ内容のものがあるか確かめる 3. 同じものがあったらそれを読みあげ、内容が同じかどうか班での承認を得る 4. 同じ内容のKJラベルをグループ化していく
ワークシートに表現する	『分類分けしたKJラベルを、ワークシートにグラフィック表現する』 1. グループにしたKJラベルをひとまとめにし、そのグループにタイトルをつける 2. KJラベルを関連性をもたせて配置し、ワークシートに貼り付ける 3. 誰が見ても分かるようなグラフィック表現を施す
感じたことをまとめる	『今回学習・評価して気づいたこと』に良いところ・問題点をまとめて記入する』 1. KJラベルによってまとめた地区の上位・関連計画における良いところ・問題点をまとめて記入する
総括する	『専門家が総括する』 1. 質疑応答内容・今後の流れも含めて、専門家が総括する
感想を残す	『参加者に感想を残してもらおう』 1. 参加者全員に対し、自由な視点で今回のまちWSの感想を記入してもらおう

『地区の行動環境づくりWS』の設計内容例等

表12 『地区の行動環境づくりWS』の設計内容例等

STEP	内容
自己紹介WS	『WSを始める前段として、自己紹介WSを行う』 1. 自己紹介シートへ各自がインタビューした内容を記入する（氏名・子供の想像した職業・趣味など） 2. 班の中で内容を発表しあう
まちWSの説明	『まちWSを始める前に、以下の4点について説明する』 1. まちWSとは何か 2. まちWSを用いる利点とは 3. KJ法の特徴 4. 地区の行動環境における上位・関連計画の内容
キーワードラベルを切り抜く	『各自が重要と思われるキーワードラベルを切り抜く』 1. 地区の行動環境の将来像・整備方針を決めていくのに重要と思われるキーワードを上位・関連計画のキーワード集・課題発見WSの結果のキーワード集の中で検討する 2. 自分が上位・関連計画のキーワードだけでは足りないと思えば、空白部分にキーワードを追加する 3. 地区の行動環境の将来像・整備方針を決めていくのに重要と思われるキーワードを切り抜く
キーワードラベルをまとめる	『個人で切り抜いたキーワードラベルを、班全員で検討しまとめる』 1. チームリーダーが枚だけキーワードラベルを読みあげる 2. 読みあげた内容と自分の持っているキーワードラベルで同じ内容のものがあるか確かめる 3. 同じものがあったらそれを読みあげ、内容が同じかどうか班での承認を得る 4. 同じ内容のキーワードラベルをグループ化していく 5. グループにしたキーワードラベルをひとまとめにし、そのグループにタイトルをつける 6. 誰が見ても分かるようなグラフィック表現を施す
将来像・整備方針としてまとめる	『地区の行動環境計画の将来像・整備方針としてまとめる』 1. まとまったキーワードラベルから地区の将来像を1つ、整備方針として3つ検討する 2. 地区の行動環境の将来像・整備方針として記入する
地区の行動環境計画を立案する	『地区の行動環境計画を立案する』 1. 将来像・整備方針の実現に向けての計画案をチームリーダーを中心に検討し記入する
地図上に表現する	『地図上に落とせる計画を地図上に表現し、凡例に計画名称を記入する』 1. 地図上に落とせる計画を地図上に表現する 2. 凡例に計画名称を書き込む
発表する	『チームリーダーが発表する』 1. 班でまとめた地区の行動環境計画をチームリーダーが参加者全員に対して発表する
総括する	『専門家が総括する』 1. 各班の発表を聞き、専門家が総括する

『地区の住環境づくりWS』の設計内容例等

表13 『地区の住環境づくりWS』の設計内容例等

STEP	内容
自己紹介WS	『まちWSを始める前段として、自己紹介WSを行う』 1. 自己紹介シートへ各自がインタビューした内容を記入する（氏名・子供の想像した職業・趣味など） 2. 班の中で内容を発表しあう
まちWSの説明	『まちWSを始める前に、以下の4点について説明する』 1. まちWSとは何か 2. まちWSを用いる利点とは 3. KJ法の特徴 4. 地区の住環境における上位・関連計画の内容
キーワードラベルを切り抜く	『各自が重要と思われるキーワードラベルを切り抜く』 1. 地区の住環境の将来像・整備方針を決めていくのに重要と思われるキーワードを上位・関連計画のキーワード集・課題発見WSの結果のキーワード集の中で検討する 2. 自分が上位・関連計画のキーワードだけでは足りないと思えば、空白部分にキーワードを追加する 3. 地区の住環境の将来像・整備方針を決めていくのに重要と思われるキーワードを切り抜く
キーワードラベルをまとめる	『個人で切り抜いたキーワードラベルを、班全員で検討しまとめる』 1. チームリーダーが枚だけキーワードラベルを読みあげる 2. 読みあげた内容と自分の持っているキーワードラベルで同じ内容のものがあるか確かめる 3. 同じものがあったらそれを読みあげ、内容が同じかどうか班での承認を得る 4. 同じ内容のキーワードラベルをグループ化していく 5. グループにしたキーワードラベルをひとまとめにし、そのグループにタイトルをつける 6. 誰が見ても分かるようなグラフィック表現を施す
将来像・整備方針としてまとめる	『地区の住環境計画の将来像・整備方針としてまとめる』 1. まとまったキーワードラベルから地区の将来像を1つ、整備方針として3つ検討する 2. 地区の住環境の将来像・整備方針として記入する
地区の住環境計画を立案する	『地区の住環境計画を立案する』 1. 将来像・整備方針の実現に向けての計画案をチームリーダーを中心に検討し記入する
地図上に表現する	『地図上に落とせる計画を地図上に表現し、凡例に計画名称を記入する』 1. 地図上に落とせる計画を地図上に表現する 2. 凡例に計画名称を書き込む
発表する	『チームリーダーが発表する』 1. 班でまとめた地区の住環境計画をチームリーダーが参加者全員に対して発表する

『地区のまちづくりの方針抽出WS』の設計内容例等

表11 『地区のまちづくりの方針抽出WS』の設計内容例等

STEP	内容
まちWSの説明	『まちWSを始める前に、以下の4点について説明する』 1. まちWSとは何か 2. まちWSを用いる利点とは 3. KJ法の特徴 4. 地区の上位・関連計画の内容
自己紹介WS	『まちWSを始める前段として、自己紹介WSを行う』 1. 自己紹介シートへ各自が記入する（氏名・今何をしていますか・趣味など） 2. 班の中で内容を発表しあう
上位・関連計画について説明する	『上位・関連計画について説明する』 1. 地区のまちづくりの方針についての、上位・関連計画について説明し、情報を共有し学習する
キーワードを切り抜く	『各自が重要と思われるキーワードを切り抜く』 1. 地区のまちづくりを決めていくのに重要と思われるキーワードを上位・関連計画のキーワード集の中で検討する 2. 自分が上位・関連計画のキーワードだけでは足りないと思えば、空白部分にキーワードを追加する 3. 地区のまちづくりを決めていくのに重要と思われるキーワードを切り抜く
キーワードラベルを分類分けする	『個人で切り抜いたキーワードラベルを、班の中で内容が同じ物に分ける』 1. チームリーダーが枚だけキーワードラベルを読みあげる 2. 読みあげた内容と自分の持っているカードで同じ内容のものがあるか確かめる 3. 同じものがあったらそれを読みあげ、内容が同じかどうか班での承認を得る 4. 同じ内容のキーワードラベルをグループ化していく
ワークシートに表現する	『分類分けしたキーワードラベルを、ワークシートにグラフィック表現する』 1. グループにしたキーワードラベルをひとまとめにし、そのグループにタイトルをつける 2. キーワードラベルを関連性をもたせて配置し、ワークシートに貼り付ける 3. 誰が見ても分かるようなグラフィック表現を施す
地区のまちづくりの方針として表現する	『『地区のまちづくりの方針』にまとめて記入する』 1. キーワードラベルによってまとめた地区のまちづくりの方針をまとめて記入する
発表する	『チームリーダーが発表する』 1. 班でまとめた地区のまちづくりの方針をチームリーダーが参加者全員に対して発表する
総括する	『専門家が総括する』 1. 各班の発表を聞き、専門家が総括する

『地区の施設環境づくりWS』の設計内容例等

表 14 『地区の施設環境づくりWS』の設計内容例等

STEP	内容
他己紹介WS	『まちWSを夜で進める前段として、他己紹介WSを行う』 1. 他己紹介シートへ各自がインタビューした内容を記入する（氏名・子供の頑張った職業・趣味など） 2. 班の中で内容を発表しあう
まちWSの説明	『まちWSを始める前に、以下の4点について説明する』 1. まちWSとは何か 2. まちWSを用いる利点とは 3. KJ法の特徴 4. 地区の施設環境における上位・関連計画の内容
キーワードラベルを切り抜く	『各自が重要と思われるキーワードラベルを切り抜く』 1. 地区の施設環境の将来像・整備方針を決めていくのに重要と思われるキーワードを上位・関連計画のキーワード集・課題発見WSの結果のキーワード集の中で検討する 2. 自分が上位・関連計画のキーワードだけでは足りないと思えば、空白部分にキーワードを追加する 3. 地区の施設環境の将来像・整備方針を決めていくのに重要と思われるキーワードを切り抜く
キーワードラベルをまとめる	『個人で切り抜いたキーワードラベルを、班全員で検討しまとめる』 1. チームリーダーが1枚だけキーワードラベルを読みあげる 2. 読みあげた内容と自分の持っているキーワードラベルで同じ内容のものがあるか確かめる 3. 同じものがあつたらそれを読みあげ、内容が同じかどうか班での承認を得る 4. 同じ内容のキーワードラベルをグループ化していく 5. グループにしたキーワードラベルをひとまとめにし、そのグループにタイトルをつける 6. 誰が見ても分かるようなグラフィック表現を施す
将来像・整備方針としてまとめる	『地区の施設環境計画の将来像・整備方針としてまとめる』 1. まとまったキーワードラベルから地区の将来像を1つ、整備方針として3つ検討する 2. 地区の施設環境の将来像・整備方針として記入する
地区の施設環境計画を立案する	『地区の施設環境計画を立案する』 1. 将来像・整備方針の実現に向けての計画案をチームリーダーを中心に検討し記入する
地図上に表現する	『地図上に落とせる計画を地図上に表現し、凡例に計画名称を記入する』 1. 地図上に落とせる計画を地図上に表現する 2. 凡例に計画名称を書き込む
発表する	『チームリーダーが発表する』 1. 班でまとめた地区の施設環境計画をチームリーダーが参加者全員に対して発表する

『地区の相隣環境づくりWS』の設計内容例等

表 15 『地区の相隣環境づくりWS』の設計内容例等

STEP	内容
他己紹介WS	『まちWSを夜で進める前段として、他己紹介WSを行う』 1. 他己紹介シートへ各自がインタビューした内容を記入する（氏名・子供の頑張った職業・趣味など） 2. 班の中で内容を発表しあう
まちWSの説明	『まちWSを始める前に、以下の4点について説明する』 1. まちWSとは何か 2. まちWSを用いる利点とは 3. KJ法の特徴 4. 地区の相隣環境における上位・関連計画の内容
キーワードラベルを切り抜く	『各自が重要と思われるキーワードラベルを切り抜く』 1. 地区の相隣環境の将来像・整備方針を決めていくのに重要と思われるキーワードを上位・関連計画のキーワード集・課題発見WSの結果のキーワード集の中で検討する 2. 自分が上位・関連計画のキーワードだけでは足りないと思えば、空白部分にキーワードを追加する 3. 地区の相隣環境の将来像・整備方針を決めていくのに重要と思われるキーワードを切り抜く
キーワードラベルをまとめる	『個人で切り抜いたキーワードラベルを、班全員で検討しまとめる』 1. チームリーダーが1枚だけキーワードラベルを読みあげる 2. 読みあげた内容と自分の持っているキーワードラベルで同じ内容のものがあるか確かめる 3. 同じものがあつたらそれを読みあげ、内容が同じかどうか班での承認を得る 4. 同じ内容のキーワードラベルをグループ化していく 5. グループにしたキーワードラベルをひとまとめにし、そのグループにタイトルをつける 6. 誰が見ても分かるようなグラフィック表現を施す
将来像・整備方針としてまとめる	『地区の相隣環境計画の将来像・整備方針としてまとめる』 1. まとまったキーワードラベルから地区の将来像を1つ、整備方針として3つ検討する 2. 地区の相隣環境の将来像・整備方針として記入する
地区の相隣環境計画を立案する	『地区の相隣環境計画を立案する』 1. 将来像・整備方針の実現に向けての計画案をチームリーダーを中心に検討し記入する
地図上に表現する	『地図上に落とせる計画を地図上に表現し、凡例に計画名称を記入する』 1. 地図上に落とせる計画を地図上に表現する 2. 凡例に計画名称を書き込む
発表する	『チームリーダーが発表する』 1. 班でまとめた地区の相隣環境計画をチームリーダーが参加者全員に対して発表する

『計画案（素案）質疑応WS』の設計内容例等

表 16 『計画案（素案）質疑WS』の設計内容例等

STEP	内容
計画案（素案）の報告	『計画案（素案）を報告する』 1. 作成した計画案（素案）を配布し、パワーポイントを使用して説明する
計画案（素案）の討議	『計画案（素案）の討議を行う』 1. 説明を受けて、計画案（素案）について質疑、また、指摘箇所を聞き出す 2. 専門家・役場職員が質疑内容に答える 3. 討議のやりとりをファシリテーショングラフィック表現し前のスクリーンに映し共有する 4. 討議内容を議事録に記す
総括する	『専門家総括する』 1. 質疑応答内容・指摘箇所を踏まえ専門家が総括する

3.4. 計画策定過程におけるまちづくりワークショップの開催案

以上の結果から、2年間の計画策定過程におけるまちWS開催案をフロー図で示す。

1年弱で、現況の把握及び課題を整理する段階で4回、また、1年間で、計画の方針及び全体計画案を立案する段階で6回のまちWSを開催する。最終の計画案(素案)質疑WSに関しては、意見の調整・合意がとれるまで続けていくため、必ずしも1回で終わるといったことを補足しておく。

また、まちWSと発表会・委員会・講演会・作文募集等の、他のパブリックインボルブメントとの関係を示す。

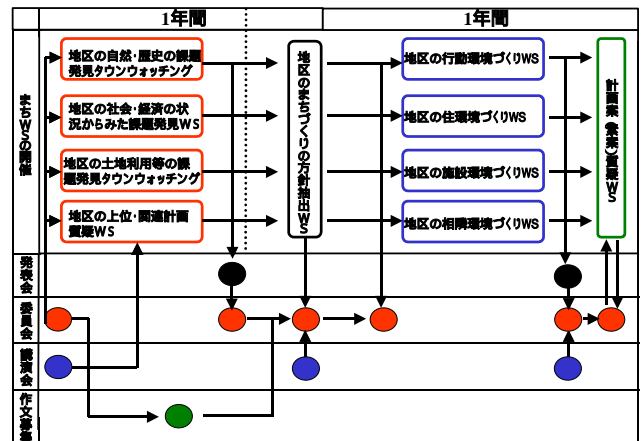


図 38 計画策定過程におけるまちWS開催案

主な引用・参考文献一覧

- ・伊藤雅春, 2001, 『建築・まちづくり計画に関する住民参加手法としてのワークショップの研究』, 博士論文
- ・大谷英人, 2001, 『市町村総合計画策定過程における「まちづくりワークショップ」の活用と展開可能性』, 1999年度文部省科学研究費
- ・大西隆, 高見沢実, 2004, 『都市を構想する』, 鹿島出版社
- ・高知県市町村土地利用計画策定マニュアル検討チーム, 2002, 『よりよいまちづくりのために』
- ・土佐山田町, 2004, 『土佐山田町都市計画マスタープラン』